

指定管理者評価シート

事業名	地域コミュニティ施設運営管理費	所管課（電話番号）	中央区市民部地域振興課（205-3221）
-----	-----------------	-----------	-----------------------

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	札幌市旭山公園通地区センター	所在地	中央区南9条西18丁目1-32
開設時期	2003年3月15日	延床面積	1,325.87㎡
目的	地域住民のコミュニティ活動の助長及び生涯学習の普及振興を図り、もって地域住民の福祉の増進に寄与する。		
事業概要	(1) 各種講習会、講演会等の開催、体育、各種野外活動等のレクリエーション活動の推進、その他必要な事業を行うこと。 (2) 一般の使用に供すること。		
主要施設	多目的ホール(300人収容)、和室(2室)、集会室(2室)、実習室、図書室、駐車場		
2 指定管理者			
名称	札幌市旭山公園通地区センター運営委員会		
指定期間	令和5年（2023年）4月1日～令和10年（2028年）3月31日		
募集方法	非公募 非公募の場合、その理由：当センターが、地域社会に関係の深い団体によって継続的に管理運営されることにより、地域住民がまちづくり活動に直接参加する機会が作られ、地域住民自らがセンターの管理運営を通して把握された地域課題の解決に取り組むことにより、地域住民間の信頼関係が築かれ、地域社会における絆の強化につながる事となる。また、まちづくり活動の担い手の育成に寄与することも期待される。このようなことから、設置目的の実現のために、地縁による団体により設立された団体及び当該設立された団体を主な構成員とする団体並びに当センター等の管理運営に関わりを持つものと市長が認める地縁による団体の推薦を受けた団体により、現に良好な管理運営が行われている場合には、継続的に管理運営を行わせるために非公募としたもの。		
指定単位	施設数：1施設 複数施設を一括指定の場合、その理由：		
業務の範囲	(1) 統括管理業務 (2) 施設・設備等の維持管理に関する業務 (3) 事業の計画及び実施に関する業務 (4) 施設の利用等に関する業務 (5) 前各号に掲げる業務に付随する業務		
3 評価単位	施設数： 複数施設を一括評価の場合、その理由：		

Ⅱ 令和7年度管理業務等の検証

項 目	実施状況	指定管理者 の自己評価	所管局の評価
1 業務の要求水準達成度			
(1)統括管理業務	▽ 管理運営に係る基本方針の策定	施設の設置目的及び管理運営の基本方針の趣旨を職員がよく理解し、円滑な業務遂行ができた。	A B C D ■策定した基本方針をもとに適切な管理運営業務を行っており、仕様書の要求水準を達成していることが認められる。
	▼旭山公園通地区センターは、単なる貸館や図書室を営む受け皿ではなく、コミュニティ活動の助長や生涯学習普及振興のための戦略的施設として、以下の基本方針に基づき施設の管理運営をしています。 (1)地域住民のコミュニティ活動助長のために、 ①地区センターが地域コミュニティづくり・連携づくりの「場」となる。 ②コミュニティ活動の中心となる人材育成を図る。 (2)生涯学習の普及振興のために、 ①ニーズに合わせた自主講座や文化活動発表会を開催する。 ②図書室の有効利用を図る。		■平等利用を確保する上で、マニュアルに基づき適正に取り組んでいる等、仕様書の要求水準を達成していることが認められる。 ■関係規定を遵守し、資源リサイクルやエネルギー使用量の削減等積極的に取り組んでいる等、仕様書の要求水準を達成していることが認められる。
	▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績		
	▼貸室業務の基本は、利用の平等性を維持することであるため、受付方法をはじめ、市から提示されているマニュアルに基づく運営の徹底を図った。 ▼信条、性別、社会的身分、年齢等により、合理的な理由なく利用を制限し、あるいは使用料を減免する等の行為は行っていない。		
	▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進	公平・公正な取扱いは地区センターへの信頼の大前提であり、また、利用者の拡大に繋がる大切な要件であるため、運営にあたってはこの取扱いを遵守し適正に対応することができた。	札幌市の環境マネジメント研修等を通じ、職員全員の共通認識の下、利用者の協力も得ながら、地球温暖化対策及び環境配慮の推進に努めた。
	▼電気、ガス、水道の使用については、照明、冷暖房などの使用増加を意識して抑え、その節約に努めた。 ▼ロビーの床暖房は、あまり暖房効果がないため、ガス代節約のため運転を停止した。 ▼冷房や暖房の設定温度を札幌市に準ずるよう利用者にもお願いし、併せて節電の周知に積極的に取り組んだ。 ▼廃油回収ボックスを設置し、市民の協力を得て食用油の回収に協力している。 ▼事務処理に関しては、コピーは両面印刷を基本とし、環境に配慮した運営を行っている。 ▼清掃業務の委託業者には、業務仕様書において環境に配慮した用品を使用するよう明記している。 ▼職員に対し、札幌市の環境マネジメント研修を実施した。		

▽ 管理運営組織の確立（責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成）

▼運営委員会の下に事務局を設置。仕様書に基づき、統括責任者（館長）、館長職務代理人、事務職員、図書室職員、パート職員等必要な職員を配置している。

▼業務分担、指揮命令系統、緊急連絡網を規定し、周知している。

▼研修計画に基づき、職員を対象にして必要な研修を行った。受付実務及び接遇研修などを実施し、自己啓発の一助としている。

▼近年の物価上昇に伴い、職員に対する給与改定を行った。

研修名	内容	研修日	参加人数
個人情報	個人情報の保護	4月24日	5名
ストレス	ストレスチェック	6月20日	4名
EMS	環境マネジメント把握	7月23日	4名
接遇	スキルアップ	9月26日	5名
防災	消防訓練	10月24日	6名
防災	消防訓練	3月24日	5名

▽ 管理水準の維持向上に向けた取組

▼どうすれば利用者のリピート率を増やすことができるかを考慮し、利用しやすい環境整備が最優先である旨を事務局全員で確認し、その具体化に鋭意努力している。

▼公平に利用してもらうためには、数々の約束事が必要であり、利用者の理解と協力を得るため努力している。

▼日常業務を円滑に実施するため、各種規程類や管理運営マニュアルを確実に理解し、職員が統一した正しい取扱いを行えるよう、情報の共有化を図っている。

▽ 第三者に対する委託業務等の管理（業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認）

▼以下の12種の業務について、札幌市の承認を得て、第三者に委託して実施した。各業務とも、仕様書に基づき着実に履行がなされた。なお、業務執行に伴い責任者と緊密な連絡体制をとり、必要に応じて指導・指示を行っている。①清掃②警備③エレベーター保守④自動ドア保全⑤消防設備保全⑥自家用電気工作物保安管理⑦舞台装置保全⑧ガスヒートポンプ保全⑨建築基準法定期点検⑩外構緑地管理⑪税理士⑫除排雪
▼夜間の利用受付及び案内業務を事務局職員ではなく、札幌市の承認を得て公益社団法人札幌市シルバー人材センターへ業務委託し、契約どおりの履行がなされた。

管理運営組織の確立については、業務仕様書等に基づき適切な対応ができた。

利用者への貸出備品の更新や改修、施設の補修箇所などの速やかな修繕など、利用者が使用しやすい施設となるよう、管理水準の維持向上に努力した。

委託業務については、的確な監督と履行確認を行っており、適切に管理し実施することができた。

■管理運営業務を適切に行い得る組織を整備し、従事者が適切に確保・設置されている。また、計画に基づいた研修を行う等、人材育成への取り組みが十分なされていることから、仕様書の要求水準を達成していることが認められる。

■職員間の情報共有方法を明確にしていると同時に、業務の見直しについても適宜行っている等、仕様書の要求水準を達成していることが認められる。

■委託業務等における適正の確保及び再委託の相手方となる事業者への適切な監督、履行確認を行う等、仕様書の要求水準を達成していることが認められる。

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整（運営協議会等の開催）

開催回	協議・報告内容
第1回 (7月7日)	・施設利用状況 ・令和6年度事業報告及び収支決算 ・令和7年度事業計画及び収支予算 ・ちびっこサマーランドの開催 ・今年度の協議会開催予定
第2回 (9月29日)	・施設利用状況 ・実施済事業状況 ・今後の事業予定
第3回 (12月23日)	・施設利用状況 ・実施済事業状況 ・今後の事業予定 ・運営委員会事務局職員の給与改定 ・地区センター床下温水管の水漏れ（報告）
第4回 (3月24日)	・施設利用状況 ・令和7年度事業報告 ・令和8年度事業計画(案) ・令和7年度決算見込 ・令和8年度予算(案) ・利用者アンケート調査結果

<協議会メンバー>

（札幌市）中央区地域振興課長、地域活動担当係長
（指定管理者）会長、副会長、総務部長
（利用者団体）円山ずこうクラブ代表、ソネット代表
（地元自治会等）旭山公園通町内会長

▼運営協議会の審議内容については、協議会終了後に、その要旨を1か月程度施設内に掲示し、センター利用者に周知している。

▽ 財務（資金管理、現金の適正管理）

▼現金出納簿をはじめ、必要な帳簿を備え、収入・支出決定書等所定の帳票を使用して、正確な現金・預金管理を行っている。

▼現金等の取扱いについては、現金等取扱規程（平成30年4月1日施行）に基づき、適正な管理が行われているかを館長の毎日の点検により実施している。

▼コピー料金は使用記録簿を作成し、利用者ごとに記載し、現金照合を経て金庫に保管している。

▼資金管理については、年度毎に収支その他経理に係る帳簿を整備し、また、税理士に委託して会計処理の確認・監査・点検を客観的に行っている。

運営協議会は、管理業務等仕様書に基づき4回実施し、業務報告や利用者アンケート結果報告、指定管理者業務に係る重点課題等について意見交換や協議を行った。

運営協議会の協議内容については、施設内に掲示し、広く利用者に周知した。

■運営協議会が所定の回数開催され、必要な事項について協議がなされている等、仕様書の要求水準を達成していることが認められる。

資金管理や現金取扱いは規程に基づき適正に管理し、税理士に確認・助言・監査を委託し、年2回札幌市の財務検査を受けている。

なお、財務検査において指導を受けた事項はなかった。

■実地による財務関係書類等の検査により、現金等取扱規程に基づき、帳簿・現金等を適切に運用する等、仕様書の要求水準を達成していることが認められる。

	▽ 要望・苦情対応 ▼要望・苦情対応については、速やかな対応を第一に考え、職員間での情報共有を図りながら解決に向けて努力している。 ▼内容により札幌市と協議し、軽易なものは館長判断で速やかに対応している。 ▼貸室や備品に関する要望の中で、対応可能なものは速やかに処理している。 ▼苦情については、「苦情処理簿」において、申し出の趣旨を職員間で共有し、改善措置を実施している。 ▽ 記録・モニタリング・報告・評価（記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施） ▼日々の日報記載をはじめ、業務に関する記録を整備保管している。また、事務室と図書室の業務状況を業務日誌に記録し、館長が確認して業務改善に繋げている。 ▼当センター主催講座の終了時にアンケートを行い、講座の満足度等を把握するとともに運営協議会に内容を報告している。 ▼2月に利用者アンケート調査を実施し、結果を集計後、掲示板へ掲示し利用者にアンケート結果を周知した。また、運営協議会に内容を報告している。	4月に受けた夜間委託職員への苦情申出について、委託業者へ報告のうえ改善措置を提出させるとともに速やかに札幌市へ報告し、今後は同様の事例が起きないように十分に注意している。 管理業務に関する帳簿等を整備し、札幌市に定期的に報告するほか、年2回札幌市の業務検査においても指摘事項を受けることなく、確実かつ適正な業務遂行に努めた。	■要望・苦情等について適切に対応する等、仕様書の要求水準を達成していることが認められる。 ■各記録を適切に取り扱うとともに、アンケート調査及び結果分析、セルフモニタリングが適切に行う等、仕様書の要求水準を達成していることが認められる。								
(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上	▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上(事故の有無などの安全衛生面を含む) ▼毎年度、4月1日までに時間外労働・休日労働に関する協定書(36協定)を労働基準監督署へ届け出ている。 ▼職員の勤務時間は、1週40時間、1日8時間を遵守している。 ▼職員に対し、時間外労働を行った場合、法定割合の割増賃金を支給している。 ▼パート職員に対しては、北海道最低賃金以上の時給を支給している ▼すべての職員が労災保険及び雇用保険に加入し、1年に1回、定期健康診断を受診している。	労働基準監督署による行政指導はなく、法令で規定された基準を上回る雇用環境を整備し、適正に対処している。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>D</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> ■実地による関係書類の検査等により、労働関係法令が遵守され、関係規則等を整備していることを確認した。また、法令で規定された基準を上回る雇用環境を整備する等、雇用環境の向上に努めており、仕様書の要求水準を達成していることが認められる。	A	B	C	D				
A	B	C	D								
(3)施設・設備等の維持管理	▽ 総括的事項（利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入）		<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>D</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	A	B	C	D				
A	B	C	D								

業務

▼利用者の安全確保のため、職員による開館前の日常点検及び貸室利用後の再点検を必ず行い、設備・備品の確認、清掃、忘れ物の点検を徹底した。

▼冬期間には、歩道・非常口の除雪や雪庇状態の安全確認を実施し、併せて歩行箇所へ滑り止め用の砂利撒きを行った。

▼突発的な事故や軽微な修理については、先に館長が対応し利用者の安全確保に努めた。

▼拾得物については、事務室受付で展示をして、利用者が拾得物を確認できるよう努めている。

▼損害賠償保険は、管理業務等仕様書に適合したものに加え、講座や交流事業についても、その都度損害保険に加入している。

利用者が安全、安心、快適に利用できるよう日常の維持管理を徹底し、設備保守業者や清掃業者と連携をとりながら管理に務めた。

■利用者等の安全確保に努めるとともに、拾得物の適切な管理や所定の損害保険への加入等を行っている。

仕様書の要求水準を達成していることが認められる。

	▽ 施設・設備等の維持管理（清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等） ▼清掃、警備、除排雪、保守点検等については第三者委託により実施し、日常的な連絡調整を通じて、施設の快適な環境維持、不測の事故等の未然防止に努めた。 ▼緑地管理については、定期的中庭の芝刈り、施設回りの除草、樹木の冬囲い等を行った。特に花壇は、近隣の住民の方々がボランティアとして定期的に管理している。 ▼施設の老朽化に伴い、修繕の必要な箇所については、その都度修繕を実施した。 ▽ 防災 ▼消防計画に基づき、9月と3月に自衛消防訓練を実施し、施設内巡回、避難通路確保、誘導灯点検、非常口の除雪等を行った。 ▼来館者の緊急時対応としてAEDを備えており、受付窓口や多目的ホール掲示板に設置マークの表示をしている。また、職員が普通講習を受講し、必要時に混乱なく作動できる体制を維持している。 ▼AEDは保証期間が終了したため、速やかに新規購入を行った。	年2回実施の定期清掃や施設設備保守点検等は、当該作業時の利用者への影響が最小限になるよう、計画的かつ迅速に実施することができた。 防災については、重要な観点と考慮しており、法定の訓練を実施し中央消防署へ必要な届出を行った。	■各維持管理が適切に行われている。修繕については、施設等の劣化及び損傷を最小限にする等、仕様書の要求水準を達成していることが認められる。 ■防災訓練の実施等、消防計画に基づき適切に取り組みが行われており、要求水準を達成していると認められる。																																																																										
(4)事業の計画・実施業務	▽ 区民講座等の学習機会の提供業務 ▼こどもかけっこ教室等13講座・49回を開催した。全講座の募集人数339名に対して応募人数は402名（応募倍率1.2倍）であり、定員を増やした講座もあった。また、受講者アンケートによると理解度及び満足度については、ほぼ全ての講座が100%と非常に好評であった。 <table><tr><th>講座名</th><th>回数</th><th>募集人数</th><th>応募人数</th><th>応募倍率</th></tr><tr><td>こどもかけっこ教室</td><td>4</td><td>60</td><td>53</td><td>0.9</td></tr><tr><td>大人のメイクアップレッスン</td><td>4</td><td>12</td><td>14</td><td>1.2</td></tr><tr><td>包丁研ぎ教室</td><td>2</td><td>10</td><td>10</td><td>1.0</td></tr><tr><td>ピラティスでリフレッシュ</td><td>4</td><td>12</td><td>20</td><td>1.7</td></tr><tr><td>夏休み企画！自分だけの土偶を作</td><td>1</td><td>10</td><td>10</td><td>1.0</td></tr><tr><td>女性のための健康マー جان</td><td>5</td><td>12</td><td>21</td><td>1.8</td></tr><tr><td>はじめての透明水彩画</td><td>5</td><td>8</td><td>16</td><td>2.0</td></tr><tr><td>ボランティアによる美術への誘い</td><td>2</td><td>15</td><td>19</td><td>1.3</td></tr><tr><td>みんなで歌おう！懐かしの歌</td><td>6</td><td>150</td><td>186</td><td>1.2</td></tr><tr><td>チーズセミナー</td><td>4</td><td>16</td><td>12</td><td>0.8</td></tr><tr><td>初心者にもやさしいジェントルヨガ</td><td>4</td><td>12</td><td>20</td><td>1.7</td></tr><tr><td>菌活&腸活料理講座</td><td>4</td><td>12</td><td>14</td><td>1.2</td></tr><tr><td>親子リトミック</td><td>4</td><td>10</td><td>7</td><td>0.7</td></tr></table>	講座名	回数	募集人数	応募人数	応募倍率	こどもかけっこ教室	4	60	53	0.9	大人のメイクアップレッスン	4	12	14	1.2	包丁研ぎ教室	2	10	10	1.0	ピラティスでリフレッシュ	4	12	20	1.7	夏休み企画！自分だけの土偶を作	1	10	10	1.0	女性のための健康マー جان	5	12	21	1.8	はじめての透明水彩画	5	8	16	2.0	ボランティアによる美術への誘い	2	15	19	1.3	みんなで歌おう！懐かしの歌	6	150	186	1.2	チーズセミナー	4	16	12	0.8	初心者にもやさしいジェントルヨガ	4	12	20	1.7	菌活&腸活料理講座	4	12	14	1.2	親子リトミック	4	10	7	0.7	地域の方々の文化活動の拠点として、幅広い年齢層や多種多様なニーズに対応した講座を企画・実施することができた。 また、講座を通じて新たにサークルを結成、又は既存のサークルに参加するなど、更なる利用者の増加に繋がっている。	<table><tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr></table> ■応募人数は募集人数を上回ることが多く、講座も計画どおり実施している。また、実施した講座において、受講者の理解度・満足度も高い等、仕様書の要求水準を達成していることが認められる。	A	B	C	D
講座名	回数	募集人数	応募人数	応募倍率																																																																									
こどもかけっこ教室	4	60	53	0.9																																																																									
大人のメイクアップレッスン	4	12	14	1.2																																																																									
包丁研ぎ教室	2	10	10	1.0																																																																									
ピラティスでリフレッシュ	4	12	20	1.7																																																																									
夏休み企画！自分だけの土偶を作	1	10	10	1.0																																																																									
女性のための健康マー جان	5	12	21	1.8																																																																									
はじめての透明水彩画	5	8	16	2.0																																																																									
ボランティアによる美術への誘い	2	15	19	1.3																																																																									
みんなで歌おう！懐かしの歌	6	150	186	1.2																																																																									
チーズセミナー	4	16	12	0.8																																																																									
初心者にもやさしいジェントルヨガ	4	12	20	1.7																																																																									
菌活&腸活料理講座	4	12	14	1.2																																																																									
親子リトミック	4	10	7	0.7																																																																									
A	B	C	D																																																																										

▽ 地域住民の交流等を目的とした事業に関する業務

▼ちびっこサマーランドは関係団体の協力のもと、当日は天候にも恵まれ、乳幼児・小学校低学年の子供たち146名、その保護者80名、協力員・ボランティア等75名の合計301名と多くの方々に参加いただき、成功裡に終えることができた。

▼ふれあい文化祭はステージ発表として、コーラス、ギターアンサンブル、ダンスなど日頃の練習成果を発表し、ロビーにはフラワーアレンジメント、絵手紙、習字、工作などの作品を展示し、来館者の目を引きつけていた。

▼ふれあいコンサートは前年に続き、アンダンテ・ウィンドアンサンブルと幌西小学校合唱団とのコラボが大変好評との感想をいただいた。

▽ 施設開放事業（無料）に関する業務

▼卓球・バトミントンの無料開放は、毎月第1月曜日の午前区分で実施予定でしたが、有料貸予約6回、住民健診2回、地区センター事業1回により、3回無料開放を実施し、卓球85名、バトミントン16名の参加があった。

利用者は譲り合いながら和気あいあいとしたのしんでいる様子が伺えた。

▼ファミリーでの卓球・バトミントンの無料開放は、毎月第1・3日曜日の夜間区分で実施を予定していたが、そのうち19回無料開放を実施し、卓球86名、バトミントン236名の参加があった。

スポーツを通じて家族の絆が深まり楽しいひとときを過ごし、運動不足解消と健康増進につながっている。

▽ 図書業務

▼開室日数278日(前年度比1日増)、貸出冊数99,516冊(前年度比4,165冊減)、返却冊数107,269冊(前年度比4,555冊減)、利用者数34,116人(前年度比763人減)

▼図書資料に興味をもってもらう工夫として、カウンター前にブックトラックを置き、本の分類記号(ジャンル)毎に紹介資料と本と一緒に展示している。

▼図書室見学授業として、幌西小学校2年生5クラスが3班に分かれて5月23日に来館し、「みんなで使うまちの施設」のテーマで職員が図書室業務について説明を行った。

地域の各種団体の方々と地域の子供たちが世代間交流する機会、文化祭・コンサート等の実施は、コミュニティ活動及び文化活動の拠点としての地区センターの役割を十分果たすことができた。

地区センターの利用促進のために実施する無料開放であるが、無料開放予定日の2週間前までの有料申込が多く、当地区センター稼働率の高さを実感した。

ホームページによる「新刊本のお知らせ」や「新着図書案内」ファイルの工夫で、連日多くの図書室利用者が来館している。

更に、魅力のある図書室となるよう工夫していきたい。

■幅広い地域住民の交流等を目的とした事業を行い、多くの事業で来場者目標数を達成している等、仕様書の要求水準を達成していることが認められる。

■施設の利用状況を踏まえ、幅広い地域住民が参加できるよう配慮する等、仕様書の要求水準を達成していることが認められる。

■図書室の利用促進に向けて、室内環境の整備や交流事業の実施等、様々な取り組みを行っている。

仕様書の要求水準を達成していることが認められる。

(5)施設利用に関する業務	▽ 利用件数等				多目的ホールは料金値上がりの影響で利用件数が減少すると見込んでいたが、稼働率及び利用料金は前年度を上回ることとなった。これは、運動サークルのリーダーが、定着しているためと思われる。	A B C D				
			R6年度実績	R7年度計画		R7年度実績	■貸室の目標利用率について、実績ではほぼ計画を上回っており、利用促進を継続して行う等、仕様書の要求水準を達成していることが認められる。			
	多目的ホール	件数(件)	1,055	1,000		1,006				
		人数(人)	29,915	30,700		30,260				
		稼働率(%)	75.4	77.6		77.2				
	和室	件数(件)	1,415	813		1,450				
		人数(人)	8,912	6,000		8,703				
		稼働率(%)	61.7	43.5		63.1				
	集会室	件数(件)	1,763	918		1,850				
		人数(人)	11,722	6,800		11,830				
稼働率(%)		80.4	48.6	84.3						
実習室	件数(件)	671	548	708						
	人数(人)	4,702	4,400	5,346						
	稼働率(%)	61.2	53.9	65.1						
▽ 不承認0件、 取消し76件、 減免0件、										
▽ 利用促進の取組										
▼「地区センターだより」を3連合町内会へ回覧し、利用促進に努めた。										
▼人気のある講座を多く開催し、その後のサークル活動としての利用促進に繋がるよう工夫している。										
(6)付随業務	▽ 広報業務				広報誌の発行やホームページの更新など計画的な実施ができた。	A B C D				
	▼講座やイベントの実施に際しては、先ず「広報さっぽろ」や「札幌市イベント情報」に概要を掲載した。また、ポスターやチラシの配布をまちづくりセンターに協力依頼をしてPRに努めた。					■仕様書に基づき、適切に管理運営を行っていることが認められる。				
	▼地区センターだよりを年5回発行し、センター事業の普及啓発等、情報発信に取り組んだ。					また、努力目標であるウェブアクセシビリティの対応にとりくむ姿勢は非常に評価できる。				
	▼ホームページの更新は事務局職員が行い、貸室予約状況たイベント情報を提供し、サービスアップに努めている。									
	▼ホームページは利用者の立場になって、ウェブアクセシビリティの考え方にに基づいて管理している。									
	▽ 引継ぎ業務									
	(前回から継続指定のため、引継ぎ業務なし)									
2 自主事業その他										
▽ 自主事業						A B C D				
▼該当事業なし										
▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等										

▼当センターの施設維持管理業務に係る第三者委託及び物品購入、修繕等は全て札幌市内企業に発注した。 ▼夜間の案内業務等を公益社団法人札幌市シルバー人材センターを活用し、業務を委託した。 ▼経常的に使用する印刷物は、市内の社会福祉法人へ発注した。 ▼市内の社会福祉法人による自然食品と天然酵母パンの月1回の販売に館内のロビーを提供している。	市内企業等の活用を第一に考えるとともに、高齢者や障がい者の雇用環境の場を広げることに協力している。	■仕様書の要求水準を達成していることが認められる。
--	--	----------------------------------

3 利用者の満足度

▽ 利用者アンケートの結果

実施方法	・実施期間：令和8年2月2日～15日 ・調査依頼件数：397件 ・回答件数：349件 ・回答率：87.9% ・実施方法：貸室利用者に対し、アンケート用紙を配布して実施。
結果概要	・貸室について、今後の利用希望は97%、貸室料金は82%、貸室利用時間区分は86%、事務局職員の接客態度は100%の満足度をいただいた。 ・図書室について、今後の利用希望は83%、職員の接客態度は99%の満足度をいただいた。 ・施設について、設備等の管理状況は99%、館内の清掃状況は99%の満足度をいただいた。
利用者からの意見・要望とその対応	【要望】 ・利用料金の急な値上がりによりびっくり。少しずつ上げて欲しかった。 【対応】 ・地区センターの貸室使用料は条例で決められており、指定管理者の裁量で料金を変更することができないことをご理解願います。また、この度の改定は、昨今の物価上昇などの影響から、公共施設を維持するための経費が大幅に増加している状況のため、今後、利用者に将来にわたって安定的なサービスを提供するためであることを併せてご理解願います。 【要望】 ・地区の人が利用する時は無料にしてほしい。 【対応】 ・地区センターは札幌市の公の施設であるため、市民の公平な利用に供しなければならないことをご理解願います。 【要望】 ・無料開放日を増やしてほしい。 【対応】 ・現在、卓球・バトミントンの無料開放を平日午前11時～午後1時、家族利用を目的に日曜夜間に月2回実施しております。ただし、有料利用の申込があった場合は中止することになり、多くの方々が施設を使用している現状のため、無料開放の回数を増やすことが難しい状況であることをご理解願います。 【要望】 ・椅子に落書きがある。 【対応】 ・落書きは職員が消すよう努めていますが、ボールペン等消せないものもあるため、各利用者には原状回復の実施を含め注意喚起しております。 【要望】 ・ジムのような器具を使用が出来たらうれしい。 【対応】 ・貸室に備品としてスポーツジムのような器具を置くことは、保管スペースと適正管理（メンテナンス）のうえで困難であることをご理解願います。

各項目に関して、いずれも管理業務等仕様書の要求水準を超えている。

「総合満足度（今後の利用希望）」と重要項目である「接遇」や「清掃状況」に対する満足度からは、当センターの運営内容について高い評価をいただいた。

A B C D

■利用者から高い水準で評価されており、意見・要望等にも真摯に対応している。

仕様書に基づき、適切な管理運営業務を行っていることが認められる。

	【要望】 ・ロビーのテレビに音楽を流してほしい。 【対応】 ・少ない経費で管理運営の効率化に努めているため、節約していることをご理解願います。		
	【要望】 ・駐車場が少ないと思います。 【対応】 ・駐車場の拡張は困難であるため、できる限り公共交通機関や民間駐車場の利用をお願いします。		
	【要望】 ・もう少し遅くまで開館してほしい。 【対応】 ・夜間区分を午後10時まで超過して使用することができます。		
	【要望】 ・開館時間を早めてほしい。 【対応】 ・開館時間は条例で決められており、指定管理者の裁量で開館時間を変更することができないことをご理解願います。		
	【要望】 ・時間貸し予約も早くから取れたらよい。 【対応】 ・時間貸しの受付期間は使用承認取扱要領で決められており、指定管理者の裁量で受付期間を変更することができないことをご理解願います。		

4 収支状況

▽ 収支 (千円)

項目	R7年度計画	R7年度決算	差(決算-計画)
収入	38,550	40,714	2,164
指定管理業務収入	38,454	40,575	2,121
指定管理費	23,574	24,776	1,202
利用料金	14,500	15,307	807
その他	380	492	112
自主事業収入	96	139	43
支出	39,800	40,791	991
指定管理業務支出	39,767	40,689	922
自主事業支出	33	102	69
収入-支出	▲ 1,250	▲ 77	1,173
自主事業による利益	0	0	0
法人税等	70	73	3
純利益	▲ 1,320	▲ 150	1,170

【参考】	R7年度決算	内容
指定管理業務による利益還元	298	下記のとおり

▽ 説明

▼指定管理費は、光熱費の高騰、清掃委託料増加、賃金スライド制度に基づく加算等により協定改定を行い計画に対し1,202千円の増額となった。

▼利用料金は、貸室の稼働率アップに鋭意取り組んだ結果、計画に対して807千円の増額となった。

▼支出では、人件費、備品消耗品費の増額があり、計画に対して922千円の増額となった。

▼純利益は150千円の赤字となったが、計画に対し1,170千円の増額となった。

▼指定管理業務による利益還元は、得点板2台(62千円)、多目的ボール1セット(42千円)、プロジェクター1台(91千円)、AED1台(103千円)の購入に要した額である。

利用料金収入は、利用促進の取組成果が現れ年々増加しており、計画に対し増額となった。

また、支出については、経費の縮減を念頭に置き、ほぼ計画どおりの予算執行ができた。

A B C D

■貸室の稼働率アップや経費の削減に取り組んだ結果、計画時よりも収支が改善されている。

また、指定管理業務における利益については、利用者がより便利に使用できるよう、備品購入等の形で還元していることが評価できる。

しかし、収支状況は計画よりも改善されたものの、純利益が150千円の赤字となったため、収支状況を改善し、適切な運営管理に繋がるようにしていただきたい。

＜確認項目＞ ※評価項目ではありません。

▽ 安定経営能力の維持 ▼旭山公園通地区センター運営委員会は、自己の財産（土地、建物、有価証券等）を持たず、唯一、地区センターの管理運営だけを行う団体である。 ▼財政状況は、利用料金収入が安定しており、加えて、経費の節約に努めており、安定経営の基盤が整っている。		適	不適
▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応 ▼個人情報の保護については、条例の規程に基づき適切に対処している。 ▼行政手続条例及び暴力団排除推進条例に係る調査や該当はなかった。		適	不適

Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	次年度以降の重点取組事項
▼統括管理業務及び施設・設備の維持管理業務については、管理業務等仕様書の要求水準を満たすことができた。 ▼利用料金収入については、計画以上の安定的な収入確保を実現できた。 ▼事業の計画・実施業務については、区民講座及び交流事業に関し目標値を超えた。ただし、一般無料開放事業については開放予定日の有料貸予約が多くあり、実施できないことが多かったことは残念である。 ▼利用者の満足度に関し、アンケート結果から高い評価を得た。	▼昨年7月からの料金改定に伴い利用率が減らないよう、講座等の開催に伴うサークル活動を応援し、新規利用団体や個人利用の増加に努める。 ▼利用料金収入が増収した場合、施設内の修繕箇所を可能な限り措置し、施設や備品の良好な維持管理を目指す。 ▼利用者に親切で丁寧な対応を心掛け、心地よく楽しく利用できる施設となるよう、職員のスキルアップを図る。

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
施設の設置目的に沿った適切な管理運営を行い、積極的な利用促進に努め、利用者から高い評価を維持している点は評価できる。 今後も円滑な施設運営を継続するとともに、利用者のニーズを踏まえた多様な事業を展開し、更なる利用促進を図ることを期待する。	改善指導・指示を要する事項は特になし。